

平成26年度 事業報告

【平成26年度 事業内容一覧】

■ 就労支援事業所の商品・サービスの販路を拡大する事業

兵庫県委託事業 障害者しごと支援事業等 (平成14年度開始事業)

神戸市社会福祉協議会委託事業 神戸ふれあい工房の運営 (平成16年度開始事業)

- 1、兵庫県優先発注
- 2、企業等からの受注
- 3、インターネットを活用した販路拡大
- 4、神戸ふれあい工房店舗販売と外商
- 5、各種バザー情報の提供と出店

■ 事業所のエンパワーメントを支援する事業

- 1、技術向上指導員設置事業
- 2、障害者就労促進応援事業

■ 行政・企業、社会と共創する事業

- 1、障害福祉サービス事業 就労継続支援B型事業所「マイ・ワークSELFP」
- 2、兵庫県旅館ホテル生活衛生同業組合との障害者雇用促進の取り組み
- 3、障害者スキルアップ研修
- 4、セルフ自販機の設置推進

■ その他、事業を達成するために必要な事業

- 1、情報収集及び発信
- 2、セルフセンター会員加入促進
- 3、他団体との共同・連携・協力

■ 就労支援事業所の商品・サービスの販路を拡大する事業

1、兵庫県優先発注 実績合計：33,029,805円（前年度より174,536円増）

（1）役務（印刷・名刺・除草・清掃・クリーニング・その他作業等）

印刷・名刺 実績：12,661,112円（前年度より1,264,111円減）

除草・清掃等 実績：17,467,022円（前年度より2,313,784円増）

その他作業等役務 実績：1,080,481円（前年度より297,250円増）

（2）物品

食品・小物雑貨等 実績：1,821,190円（前年度より1,172,447円減）

※平成26年度兵庫県優先発注実績は「別表1」の通り

兵庫県優先発注の受注目標を4,000万と掲げ、兵庫県優先発注の開拓、コーディネートに取り組んだ。受注額目標には未達であったが、前年実績を上回る結果であった。

受注の内訳としては、印刷・名刺・記念品においては苦戦したが、役務や作業等役務は、前年度を大きく上回る受注となった。

2、企業等からの受注 実績：14,686,549円（前年度より1,639,202円増）

主な受注内容 印刷、物品販売、清掃作業、ポスティング、スタンプ押印、封入・発送作業等

※平成26年度企業及び団体等からの受注実績は「別表2」の通り

開拓員の配置人数は前年から減少したが、受注実績は前年を上回る成果となった。要因としては、地域情報誌のポスティング作業やDM発送作業・体育館清掃、箱折作業等の定期的な受注が積み上がったことである。

3、+NUKUMORI 売上額：543,254円（インターネット注文分のみ、外商・外販除く）
(<http://www.nukumori-hyogo.com>)

平成26年9月17日に「+NUKUMORI（ふらすぬくもり）」としてリニューアルオープンしたが、引き続き送料無料でお届けする「送料無料キャンペーン」（お買い上げ金額3,000円以上）を実施した。

掲載商品数も、前年度は延べ85点であったが、技術向上指導員（兵庫県委託事業、県内8団体に設置）との連携・協力、オリジナルグッズの開発や新商品の発掘を進めた結果、平成26年度末には延べ164点となり、売上増加につながった。

インターネット販売だけではなく、神戸ふれあい工房やカフェセルブと連携した実店舗販売や、外部でのイベント販売も精力的に行ったことも売上増加の一因と言える。

また、+NUKUMORIの販売促進ツールとしてカタログの製作にも取り組んだ。

【商品点数】 延べ164点 ※（ ）内の数字は、前年度点数。（新）は新カテゴリー
スイーツ72（43）、フード12（4）、テーブルウェア9（8）、
キッチンウェア3（3）、キッズアイテム9（9）、デイリーグッズ54（18）、
ファッション4（新）、ペット1（新）

4、神戸ふれあい工房店舗販売と外商 売上額：24,299,651円（目標22,400,000円）

兵庫セルブセンターが運営受託をして11年目となった。

今年度は、神戸市役所2号館へ移転し1ヶ月間店舗販売を休業したが、年間総販売額は前年度を上回る実績となった。要因としては、インターネット販売、バザーイベントと連携した販売及

び外商が伸びたためである。

その他にも、兵庫県中小企業団体中央会の社会貢献事業を通じて、企業と事業所とのコラボレーションにより誕生した「Japanese SAKE cake」への注目度が高かったことも一因である。「Japanese SAKE cake」は、神戸マラソン2014会場での販売を皮切りに、その後、第6回スイーツ甲子園関西大会準グランプリ受賞、神戸セレクションⅧ認定等を経て、現在も好調に販売数を伸ばしている。

【平成26年度状況】

営業日数：252日 客数：4,493人
参加事業所：95（市内63事業所、市外32事業所）

5、 各種バザー情報の提供と出店 売上実績：2,926,336円

（1）イベント・企業内販売等

神戸ふれあい工房・+NUKUMORI商品を主として、授産商品の販売活動を実施した。

※平成26年度授産商品の販売実績は「別表3」の通り

■ 事業所のエンパワーメントを支援する事業

1、 技術向上指導員設置事業

技術指導員を1名配置し、他圏域に配置された技術指導員と連携し、授産商品のインターネット販売サイト「+NUKUMORI（ぷらすぬくもり）」へ掲載を前提とした商品改善ニーズを持つ事業所を抽出し、個別ヒアリング等を経て、製菓やデザインの専門家へ繋ぎ、商品改善を促すことでサイト掲載商品の充実と授産商品の質の向上を図った。結果として、+NUKUMORI掲載商品数は昨年度の85商品から164商品へと大幅に増加し、サイト自体の売上増にも繋がった。特に、授産活動で取り組む事業所が多い「食品表示」に関して、法改正情報を含めたセミナーを、株式会社消費経済研究所より講師を招き実施した。

2、 障害者就労促進応援事業（技術指導及び技能発表会「スイーツ甲子園」の開催）

授産製品高度化の取り組みとして専門家のアドバイス・審査を通じて、よりよい製品の製造や、継続・安定した生産活動の実現を目的に、授産商品コンテスト「第6回スイーツ甲子園」を開催した。

前年度に引き続き、関西府県の行政、中間支援団体と連携し、他府県事業所の参加を推進することで、関西広域での授産商品コンテストとして、メディアを通じた一般消費者への授産商品の認知向上を図ることで販路拡大につなげて行くことが出来た。

県内予選会を突破し、各府県1事業所が「第6回スイーツ甲子園」に参加した。

本選参加事業所は、よりレベルの高い他府県事業所とプレゼンや販売イベントを通じて切磋琢磨し、より成長する機会を提供することを狙いとした。本選に進めなかった事業所は、次年度に向けた改善点を明確にすることで、県内事業所全体の底上げを図ることを目的とした。

大会後には、兵庫県・京都府・鳥取県の3府県の商品で、一般企業のバイヤー等との商談の機会や参加事業所の成長と授産商品の一般市場での販路拡大を目指し、大阪インターナショナル・ギフト・ショーに出展し、授産商品の高度化と販路拡大支援につなげた。

【第6回スイーツ甲子園の結果】

◎関西大会受賞結果（上位5位までを記載） 11事業所（府県）・11商品が参加

順位	府県	商品名	製造事業所名
グランプリ	岩手県	Hibica 米粉のポルボローネ	ワークセンターわかくさ
準グランプリ	兵庫県	Japanese SAKE cake	友が丘作業所（神戸市）、 むぎのめ作業所（川西市）
3位	福島県	Hibica ポン菓子のロッシェ	sweet hot
4位	鳥取県	とっとりっちーずたると	まちの広場ののなファクトリー
5位	宮城県	Hibica バーチ・デイ・ダーマ	ワークスペース歩° 歩°

◎兵庫大会結果（上位3位までを記載） 13事業所・15商品が参加

順位	商品名	製造事業所名
1位	Japanese SAKE cake	友が丘作業所（神戸市）、 むぎのめ作業所（川西市）
2位	杜のアイス いづかし いちじく	地域生活多機能拠点いづかしの杜（淡路市）
	杜のアイス いづかし びわの種	地域生活多機能拠点いづかしの杜（淡路市）
3位	赤穂みかんドーナツ	赤穂精華園ほのか工房

■ 行政・企業、社会と共創する事業

1 障害福祉サービス事業 就労継続支援B型事業所マイ・ワークSEL P】

（1）マイ・ワークSEL P

平成25年3月に開設した自主事業「マイ・ワークSEL P」は、2年目の年度を迎えた。事業に参加する利用者は25名（登録者）に増え、それぞれの利用者ニーズに応じた事業展開が求められていく年度であった。

拠点事業所（古湊事業所）では、東北福祉事業所製品等のバザー販売や、企業からの下請作業、企業内工場での施設外就労作業、実際の職場で活用できる実践的なパソコン練習・事務補助等に取り組んだ。また、福祉事業所ネットワークの窓口的役割を担い、株式会社リクサスからの共同受注作業（最大15事業所が参加）、神戸北イオンでの共同販売会の開催、三宮プラザ名店会プラザルグッズ制作販売のコーディネートを実施した。

サテライトであるカフェセルプ・神戸ふれあい工房では、接客販売等を通じて、就労に必要な経験の習得ならびに技術支援の提供を行った。

利用者の就労支援に関しては、2名が企業での職場実習を実施し、2名が就労につながった。

（2）カフェセルプ 売上：8,099,405円（前年度より1,183,235円減）

B型事業所マイ・ワークSEL Pのサテライトでもあるカフェセルプは、マイ・ワークSEL Pの利用者ならびに障害者スキルアップ研修事業（兵庫県委託事業）の研修生とともに、障害を持った方々が、スタッフとともに店舗運営に参画することが出来た。

店内では、スイーツ甲子園参加商品、ワンコインせるぷ等の菓子、インターネットショップ＋NUKUMORI商品を販売するなど、県内の授産商品の販路促進活動を実施し、兵庫県庁職員や周辺住民の方々などに授産製品を広くPRした。

2 旅館業等における障害者雇用のためのインターンシップ事業

前年度に引き続き、兵庫県を代表する観光地である有馬温泉等において、障害者が旅館業を中心に幅広い分野で「おもてなし」の心構えを学ぶことにより、一般就労への移行を促進するインターンシップ事業（主催：兵庫県旅館ホテル生活衛生同業組合）の実施に運営協力した。

初めての試みとして、実行委員会を発足（主催者、運営者、県内事業所の10団体）し、事業内容・企画及び意見交換を行いながら、有馬温泉街で障害者が活躍する場の創出に取り組んだ。

【研修生及び受入企業】 研修期間：平成27年2月10～12日・16～18日の計6日間

研修生所属事業所	障害種別	性別	受入企業	職種
クロスジョブ神戸	知的（発達）	男	龍泉閣	旅館
	知的/精神	男	御所坊	旅館
協同の苑くすのき	知的	男	有馬ロイヤルホテル	旅館
	知的	男	陵楓閣ねぎや	旅館
希望の家ワークセンター	知的/聴覚	男	有馬リネンサプライ	リネン
チャレンジコヤリバ	知的	男	TNN コーポレーション	畳製造
JOBステーションぽてと	精神	女	三津森	炭酸煎餅
			観光案内所	観光案内
マイ・ワーク SELP	精神	男	観光案内所	観光案内
			竹取亭円山	旅館

旅館業等における障害者雇用のためのインターンシップ事業と併せて、兵庫県生活衛生同業組合支部長研修会において、「兵庫県における障害者雇用の現状とインターンシップ事業について」の講演（神戸、神戸東、尼崎、姫路、明石、豊岡の計6回、講師：山崎玲輔）を行った。

2 障害者スキルアップ研修事業

兵庫県障害者支援課および県庁カフェセルプにおいて、障害者のスキルアップ研修を実施した。

6事業所・13名が、兵庫県障害者支援課内での事務作業やカフェセルプでの接客業務研修に取り組んだ。

3 セルフ自販機設置推進

平成26年度末時点で計39台の設置となった。従来のジャパンビバレッジ機に加え、伊藤園機、ネオス機が設置可能となり、設置者の選択肢が広がった。

■ その他、事業を達成するために必要な事業

1 情報収集及び発信

年度初めに、企業等からの仕事受注促進を目的とし、兵庫県のホームページに掲載する事業所リスト作成のため、就労継続支援B型事業所を中心に希望調査を実施した。

また、事業及びセミナー案内やその他案内等、随時情報発信を行った。

【主な情報発信の日程及び内容】 ※下記、一部のみ記載

- (1) 平成26年6月4日 ピアノの寄贈先募集案内
- (2) 平成26年6月16日 リユースパソコン寄贈先募集案内

- (3) 平成 26 年 9 月 3 日 第 6 回スイーツ甲子園案内
- (4) 平成 26 年 9 月 25 日 食品表示コンプライアンスセミナー案内
- (5) 平成 26 年 12 月 19 日 有馬温泉街での障害者インターンシップ事業案内 等々

2 セルフセンター会員加入促進

認定NPO法人化に向けて、会員加入の促進及び寄付をいただくための活動を展開した。

(※1) 平成 24 年度より、賛助会員・特別会員から協力会員（個人または団体）へ会員種別の変更を行った。

年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
正会員	690,000 138 口 (138 団体)	850,000 170 口 (170 団体)	895,000 179 口 (179 団体)	705,000 141 口 (141 団体)	600,000 120 口 (120 団体)	585,000 117 口 (116 団体)	620,000 124 口 (123 団体)
賛助会員	30,000 10 口	46,500 15.5 口	81,000 27 口	102,000 34 口	90,000 30 口	60,000 20 口	69,000 23 口
特別会員	130,000 26 口	130,000 26 口	130,000 26 口	120,000 24 口	125,000 25 口	125,000 25 口	120,000 24 口
年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度				
正会員	660,000 132 口 (132 団体)	670,000 134 口 (133 団体)	600,000 120 口 (118 団体)				
協力会員 (※1)	172,000	89,000	123,000				

3 他団体との共同・連携・協力

(1) 兵庫県社会就労センター協議会

- ・兵庫セルフセンターが実施する事業等において、連携・協力した。

(2) 日本セルフセンター

- ・セルフ自販機のPR及び設置活動に協力した。
- ・東北からのスイーツ甲子園への参加及び関西広域ネットワーク会議の開催において、連携協力した。

(3) 兵庫県障害福祉審議会

- ・兵庫セルフセンター理事長（山崎玲輔）が、構成メンバーとして審議会に出席及び協力した。

(4) 兵庫県社会福祉協議会

- ・大阪ガスグループが行う障害者の就労支援およびIT活動支援「はじまるくん」（リユースパソコン寄贈）の活動において、情報発信及び希望調査に協力した。

(5) 認定NPO法人トゥギャザー

- ・障害者の経済的自立のための底上げ戦略事業に、兵庫県内の事業所に対し、各種セミナー等の情報発信及び参加促進に協力した。

(6) ジョブステーション西宮

- ・ジョブステーション西宮と協力して箱折り作業のコーディネートに取り組んだ。また、新規作業依頼等の案内協力等も行った。

(7) 関西広域ネットワーク

- ・障害者の工賃向上事業を実施する関西域府県（兵庫県・大阪府・京都府・滋賀県・奈良県・和歌山県・鳥取県・徳島県）の行政担当者、ならびに、同事業等を受託する各府県の間接支援団体、東北支援を実施する日本セルフセンターで、定例的に会議を開催し、障害者の工賃向上事業に関わる情報共有及び情報交換を行った。併せて、授産商品の販路拡大を目的とした「第6回スイーツ甲子園関西大会」を連携協力し実施した。

2014年度 活動計算書
 2014/04/01～2015/03/31
 特定非営利活動法人 兵庫セルプセンター

円

科目	金額	
1.経常増減の部		
(1)経常収益		
受取会費・入会金		
正会員受取会費	600,000	
受取会費・入会金合計		600,000
受取寄付金		
受取寄付金	123,000	
受取寄付金合計		123,000
受取助成金等		
受取民間助成金	500,000	
受取助成金等合計		500,000
事業収益		
販路拡大事業収益	48,426,972	
受託料収益	37,887,974	
受取手数料収益	6,956,170	
販売収益	9,827,849	
作業収益	2,847,395	
訓練等給付費収益	14,880,291	
参加料収益	67,840	
事業収益合計		120,894,491
その他収益		
受取利息	3,643	
雑収益	538,754	
その他収益合計		542,397
経常収益合計		122,659,888
(2)経常費用		
事業費		
【人件費】		
給料手当	29,046,621	
通勤費	1,393,350	
法定福利費	4,209,998	
福利厚生費	239,409	
【人件費計】		34,889,378
【その他費用】		
商品仕入高	24,645,609	
利用者工賃	1,101,274	
旅費交通費	2,234,107	
通信運搬費	3,107,499	
会議費	63,351	
消耗什器備品費	708,772	
広告宣伝費	263,144	
販売促進費	3,126,496	
消耗品費	1,458,850	
修繕費	55,845	
新聞図書費	2,653	
印刷製本費	2,663,392	
燃料費	50,058	
水道光熱費	217,774	
地代家賃	2,815,691	
賃借料	138,540	
会場費	528,678	
仮払金	120,000	
保険料	335,020	
諸会費	11,000	
接待交際費	998	
諸謝金	58,674	
租税公課	1,244,947	

2014年度 活動計算書
 2014/04/01～2015/03/31
 特定非営利活動法人 兵庫セルプセンター

科目	金額		円
支払手数料	1,886,026		
支払寄付金	15,300		
業務委託費	35,655,193		
貸倒損失	38,660		
雑費	45,907		
減価償却費	1,234,488		
【その他費用計】		83,827,946	
事業費合計		118,717,324	
管理費			
【人件費】			
給料手当	1,545,638		
通勤費	236,070		
法定福利費	421,428		
福利厚生費	95,336		
【人件費計】		2,298,472	
【その他費用】			
商品仕入高	164,160		
旅費交通費	196,120		
通信運搬費	24,511		
会議費	29,642		
消耗什器備品費	36,936		
消耗品費	63,525		
新聞図書費	13,820		
印刷製本費	63,804		
水道光熱費	75,317		
会場費	7,400		
保険料	127,250		
諸会費	128,392		
諸謝金	70,000		
租税公課	1,969,927		
支払手数料	9,353		
支払寄付金	1,512		
業務委託費	516,000		
貸倒損失	500		
雑費	18,040		
【その他費用計】		3,516,209	
管理費合計		5,814,681	
経常費用計			124,532,005
当期経常増減額			-1,872,117
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
固定資産売却益			
過年度損益修正益	936,229		
経常外収益合計		936,229	
(2)経常外費用			
雑損失	765		
過年度損益修正損	156,148		
経常外費用計			156,913
当期経常外増減額			779,316
税引前当期正味財産増減額			-1,092,801
法人税、住民税及び事業税	72,000		
当期正味財産増減額			-1,164,801
前期繰越正味財産額			22,043,114
次期繰越正味財産額			20,878,313